

アロン化成株式会社が水洗ポータブルトイレ「キューレット」を発売

ポイント

- ・ポータブルトイレに真空排水機能を付与し、利用者が気兼ねなく使える機器を開発
- ・介護保険給付の対象になり、購入の際の負担が軽減



背景

現在日本では急速な高齢化により、介護を必要とする方の急速な増加がみとめられ、介護者の人材不足や心身の負担により家族が離職せざるをえなくなるなど、社会全体の問題となっています。

トイレへの移動に困難を伴う方に対しては、ポータブルトイレが使用される場合があります。しかし、排泄物の処理に際し、介護をする側、される側ともに負担が大きいのが状況です。そこで、居室におくことのできる水洗タイプのポータブルトイレの開発が求められていました。

特長

「キューレット」は従来のポータブルトイレと比較し、以下の利点があります。

・排泄物の処理 – 真空排水式を採用

排泄物を直接下水道へ流すことが可能(屋外仕様、図1)または密閉した容器に封入することが可能(室内仕様、図2)であり、居室ににおいが広がることを防げます。また利用者自身で排泄物を流すことができることにより、介護者に気兼ねなく利用できます。

・設置が容易 – 戸建住宅、マンションにも設置可能

屋外仕様タイプでは、屋外の処理機から20mの範囲で設置可能です。また上水道の工事は不要です。室内仕様タイプでは、床や壁への穴あけ工事は不要です。



図1



図2

・「キューレット」は「特定福祉用具・特定介護予防福祉用具」水洗ポータブルトイレにあたるため、介護保険給付の対象となります。

今回の成果

アロン化成株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:杉浦 伸一)は、水洗ポータブルトイレ「キューレット」を6月1日から正式に発売しました。「キューレット」は経済産業省の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」において同社が開発し製品化したもので、経済産業省と厚生労働省が定めた「ロボット技術の介護利用における重点分野」(平成24年11月公表、平成26年2月改訂)の「排泄支援」分野の製品です。